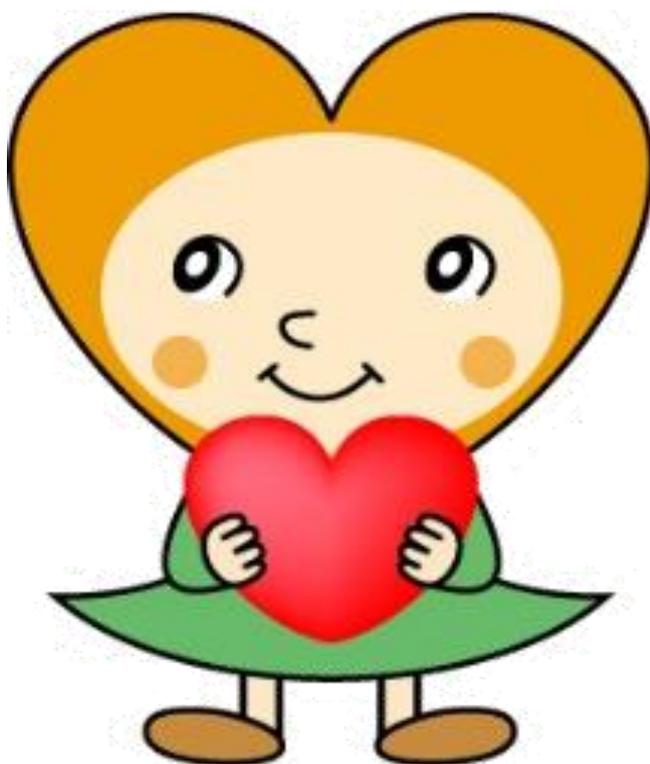


< 令和5年度  春まち ぽかぽか プロジェクト 関連事業 >

「能美たすかったわ〜大賞」

〜 あんたのおかげで   〜

作品集



見守りや居場所づくりなど、人との繋がりが希薄化している状況下において、地域でのあたたかいつながり、住民同士が互いに支え合い、助けたり、助けられたりの「お互いさま」の感謝の気持ち…皆がほっこりするような、心温まるエピソードが詰まった100字作文。沢山ご応募いただいた中から、最終選考に残った作品をまとめた1冊です。

(応募総数 1,128作品 (一般の部 479作品、小学生の部 649作品))

社会福祉法人能美市社会福祉協議会

〒923-1121 能美市寺井町た8番地1 (能美市ふれあいプラザ2階)

TEL : 0761-58-6200 FAX : 0761-58-6250

ホームページ : <http://www.nomi-shakyo.jp>



ホームページ



【一般の部】



🌀 受賞作品 🌀

大賞

寺上 桃叶さん

一月一日、大きな地震があって、小学校に避難した時、とても寒かったけど一緒に避難に来ていた人が「家から毛布持って来てるのでよかったらどうぞ」と毛布をくれたことが体も心もあたたかくなりました。

優秀賞

村尾 沙昌さん

毎週、子ども食堂を利用しています。週に一回、献立を考えなくて済み、調理や茶碗洗いの家事も減ると、子供と関わる時間ができます。子供に優しく話し掛けて下さり、温かいご飯をゆっくり食べさせてくれてありがとうございます

山田 杏莉さん

一月一日の地震で私は車で辰口へひなんしました。不安におそわれながら車を出てトイレに向かうとまた地震が起きました。知らないおばあちゃんが手をにぎってくれて嬉しかったです。その優しさはずっと忘れません。

中 悠音さん

風が強かった日に学校の駐輪場にあった自転車がたくさん倒れていた。それを見かねたクラスメートが黙々と立て直している姿が素敵だと思った。私はひとの見えないところでも頑張っている姿が印象に残っている。

- ❖ 公民館で月1回の資源回収の朝、待とったよ!と言われて驚いた。いつもより遅くなり、来ないことを心配して下さっていたんだろう。名も知らないが、気に掛けてくれる人がいる。嬉しくて有り難いことだ。
- ❖ 利用しなくなった我が家の駐車場は、近所の方々の雪捨て場になっている。ある日、その駐車場を近所の男性が竹箒で掃いているのを偶然、目にし驚いた。その方の心の美しさと人は共に生きているんだと感じた
- ❖ 今も生きづく向う三軒両隣への実感。腰痛の私の雪掻きを見て、向かいの兄ちゃんの一言ついでにと除雪車で一掃、何かと希薄な近年と言いながら満更でもない思いに只々感謝の気持で一杯、ありがとう!
- ❖ 年老いて。独り暮らしの中、まわりの方に「元気で長生きして下さい」の声に励まされここまできました。時々周囲の方々の心配りに涙することもあります。ひ孫が入学するまでは「ありがとう」の言葉を忘れず頑張りたい
- ❖ 年明けに、大地震が発生し、会社に仕事の様子を見に行き、空帰りすることが何回かあった。それで、会社が二週間程休業になった。それで、仕事の復帰が困難だと思い、やっとで仕事が再開出来るようになり、助かった。
- ❖ 認知症の主人がいなくなり探していた時、警察からの電話であるお宅で保護されているとの事。急いで行くと、汚れた体を洗われ、着替えまでして頂いた主人がいました。見ず知らずの者にここまで!と感激しました。
- ❖ 私は、転んでしまったときに、友達が「大丈夫?」と心配してくれて、そこにたまたまいた女性の方が「けがしてない?」と心配してくれたことがとてもうれしかったし、優しい人がいてくれてよかったなと思いました。
- ❖ 自転車がこわれて、僕がこまっていたら、その近くの家の方が自転車をなおす道具をもってきて、自転車をなおしてくれたのがうれしかったです。そのおかげで暗くなる前にかえれたのでうれしかったです。
- ❖ 私がありがとうと思ったのは、雪がとても積もり、買い物に行けなくなった時に隣の家の方が何か買ってきてほしいものはないかと代わりに買い物に行ってくれたことです。私もそのような思いやりのある人になりたいです
- ❖ 近くの神社に初詣に行った時、地震が起こり怖くてあせっていた時に、近くにいた地域の方がやさしく「大丈夫」と言いながら広い場所へと連れていってくれました。そのおかげで、不安がなくなりとても安心できました。

- ❖ お正月にあった能登の大きな地震で私の地域にも津波警報がでて、初めての経験だったので怖かったとき、近所の人達が「大丈夫。落ち着いて。」と声をかけてくれて少し安心しました。声をかけてくれてうれしかったです
- ❖ 学校にあまり行きたくないときに見守り隊の人にあうと毎日「おはよう」とか「テストがんばって」とか言ってくれて、気持ちが前向きになりどんな日でも学校に行くのが楽しみだなど思えるようになってとても嬉しかった
- ❖ 部活に行くとき雪が積もって車が動けないとき地域の人々が協力をして雪かきをしてくれました。車は動き、部活にも間に合えました。地域の人々には感謝したいし助け合いができる地域増えてほしいと思いました。
- ❖ この前の地震で津波が発生したので避難した。その避難場所のトイレがすごく混んでた時、男の人が「男子トイレの方も使ってください」と言って自分も行きたいはずなのにしばらくゆずってくれました。
- ❖ 一月一日に能登地方で大きな地震がありました。地震後、津波警報が出たので高台に避難しようとして外に出ると近所の人に「どこに避難すればいいの。」と声をかけられ場所を共有しました。近所の絆の大切さを感じました。
- ❖ 小学四年生の頃、お母さんは仕事で家のかぎを持っていくのを忘れて、家の前で座っていたら近所の方が心配してくださってお母さんの職場の方へ電話をかけてもらってものすごく安心したしありがたいなと思いました。
- ❖ 元旦の能登半島地震で能登で震度7の大地震が発生し、能美市に津波が来るおそれがあった時に能美市の人々が力を合わせて避難したり、助け合ったりしていて心が温った。あった。
- ❖ 私がお腹の痛い時まだ親の仕事も終わってなく、迎えにくることができなくて、困っている時、お友達が急いでお家に帰って温かい物を持ってきて、私のお家までおくってくれたことです。
- ❖ 車に乗って出かけている時に、交通事故に遭い車が横転。ドアが開かず車から出られない状況の中、近所の方がすぐ駆け寄ってきてドアを開けてくれました。ほんとうに助かりました。
- ❖ 私の思ううれしかったことは、地域での活動のときに上手くできなくて困っていたとき何人もの人が教えてくれたことです。親身になって教えてくれたり、お手本になってくれたりしてくれたことが、うれしかったです。

- ❖ 僕が雪かきをしていたときに、地域の方が手伝ってくれたことがうれしかったです。忙しいのに自分を手伝ってくれてうれしかったです。僕は、能美市に住んでいてよかったと思いました。
- ❖ 私が、習い事の帰り道で迷ってしまった時に近くにいたおばあさんが駆け寄ってくれました。その時に、私を、落ちつかせようとお茶を出してくれて私が家に帰れるように色々としてくださった事を今でも感謝しています。
- ❖ 私は、部活動で学校の外周を走っていました。そのとき、地域の方が「頑張れ。」と走っている生徒が見えたときに応援していて、私も勇気付けられたし、私も誰に対しても応援できる人になりたいと思いました。
- ❖ 学校で通学するとき、地域の方に「気を付けて行ってね。」と声をかけられたのがうれしかったし、安全に通学するときの支えになりました。そのおかげで学校でもがんばれるので、地域の方にありがとうございますと伝えたいです。
- ❖ お正月、大きな地震がおきたとき、私は震度7を観測した志賀町にいて、外でひなん生活をおくっていました。寒くて怖くて心細くなった時、地域の人達が食べ物や防寒着をたくさんわけてくださり身も心も温まりました。
- ❖ この前の地震で津波けい報がでたときに、家の近所の方がとても大きな声で「津波くるぞーみんなひなんしろ」と大きな声で、まわりの人達にしらせていたのがとてもすごいと思いました。
- ❖ 自分がまだ小さかったときに、おまつりで迷子になったことがありその時に周りの人たちがやさしく話しかけてくれたり、一緒に親を探したりしてくれたおかげで無事に親が見つかったことです。
- ❖ 私が、部活の練習試合の日は雪がつもっていて車で送ってもらいました。しかし、大通りに出る道が雪で通ることができず困っていた時に近くで雪かきをしていた人がどかすのを手伝ってくれてとてもうれしかったです。
- ❖ 私が自転車を停めた瞬間、他の自転車が倒れてしまって困っていた時に助けてくれた人ありがとう。忙しそうだったけどわざわざこっちに来て手伝ってくれたので心が温かくなりました。お礼を言えなかったのが後悔です。
- ❖ 前に、ごみを出しに行ったときにごみの分別の仕方がわからなくて困っていたときに、近くにいる方が助けてくれました。無事にごみを出すこともできましたし、とてもうれしかったです。

- ❖ 私は小学1年生の友達と下校している時に雪が積もった所を好奇心で上を歩いていたら三歩目で片足がはまってしまい、足は抜けたけど長靴は抜けず、前の家を尋ねると快く長靴を救出し靴まで貸していただきました。
- ❖ 初めてのみバスを利用する際、乗り方降り方を地域のおばあさんに教えてもらって無事家に帰ることができたことです。もし、おばあさんがいなかったら家に帰ることができませんでした。ありがとうございました。
- ❖ バスにのっているときに、降りるための百円を落としてしまい困っていたら、ある女性が、自分の分もいっしょに払っていただいたあとに、いっしょに百円を探していただいたことがうれしかったです。
- ❖ 下校中に友達の自転車とぶつかってしまい自転車が動かなくなってしまったときに、手が真っ黒になるまで僕の自転車を直そうとしてくれた友達のおかげで、その場で自転車が直って無事に帰れました。本当にありがとう。
- ❖ 僕の町では獅子舞という行事を年に一回行います。コロナのせいで数年間行えなかったけど、久しぶりに行えました。1人1人の地域の人が精一杯頑張っ、力を合わせて楽しく行っていたのが支え合いだと思いました。
- ❖ 体験入学に行くときに乗ったバスが同じく体験入学に行く学生でいっぱいだった。その時つえをついているおばあさんが入ってくると座っていた人がかわってあげ、自分もぎゅうぎゅうになりながら守っていて心温まった。
- ❖ 「いってらっしゃい」と言ってくれる地域の人。大事なテストの日や学校に行きたくない日、どんな日でもその「いってらっしゃい」が私の背中を押してくれた。地域の人達のおかげでわたしの朝が少しあたたかくなった。
- ❖ 私が助かったな~と思ったことは友達の存在です。私は一、二年生の間不登校でした。久々の学校が怖くてしかたなかったけど友達が笑顔で態度を変えずに接してくれてそれからは毎日学校に行けるようになったからです。
- ❖ 「大丈夫ですか。」そう声をかけてくれたのは先ほどまで車を運転していた男性の方でした。ぼくが自転車で登校中に段差につまずいて転倒したまま起き上がってこないことを心配して車を降りて助けにきてくれました。
- ❖ 自分の自転車が道でこわれてしまったとき1人の男の人が知り合いでもないのにも関わらず道具を持って来てきれいに直してくれてまた小学生の子たちが大丈夫?と声をかけてくれて、地域の人達の温かさを感じました。

- ❖ 学校から家に歩いて帰っていたとき、すごく寒くて疲れていて、気分が下がっていました。そんなときに、通りかかったおばあさんが、「おかえり。」といってアメをくれました。心がとても温かくなりました。
- ❖ 朝学校に向かう最中自転車の後輪に、やわらかい長い木の枝がひっかかる取れずにいて道端で止まっていました。すると通りすがりの人が車から降りて枝を取ってくれ、「けがしたかと思ったよ。」と心配してくれました。
- ❖ 僕の助かったわ〜は、自転車に乗っていて、その時たちくらみをし、コンビニの外で座っていたら女性の方が声をかけてくれて、そしてコンビニの人も声をかけてくれて、家まで送ってもらい、本当に感謝しています。
- ❖ 僕の祖母は体が不自由で自分で体を動かすことが難しくなってきた。そんな中、地域や同じ町内の人たちが「大丈夫？」と心配し、祖母のために食材を持って来てくれたり見守ってくれた。とても嬉しかった。
- ❖ 自分が小学生のときの冬に、積もっていた倅にはまってしまいぬけだせなくなってしまったことがありました。その時に地域の方が自分を助けてくれて家までついてきてくれました。寒い冬に、心あたたまる出来事でした。
- ❖ 私がバスで下校をしている時その日は座席がうまっていました。そこにご老人が乗ってこられたので、私は席をゆずろうと思いました。ですがすかさず外国の方が席をゆずっていて心があたたまりました。
- ❖ 部活動が一人の時に話しかけてくれた子がいました。最初は部活動に行くのが億劫でしたが部活動が一日の楽しみになりました。嫌なことがあっても支え合えたため仲良くしてくれた子には感謝の気持ちでいっぱいです。
- ❖ 私は、いつも通る近所の人に朝「おはようございます」と挨拶したことです。その人は、挨拶してくれた事がとても嬉しくて、今もお菓子を分けてくれたりします。私の挨拶で地域の輪が広がったようで嬉しかったです。
- ❖ 年始で起きた地震で物見山に避難した際、車をどこに停めれば良いのかを教えてくれた年配の方がいました。緊急時で右も左も分からなかったときの冷静な判断、とても助かりました。私もあの方のようになりたいです。



【小学生の部】



✿ 受賞作品 ✿

優秀賞

石川 杏さん

1月1日、しか町のばあちゃん家に行った時のと地しんがおきた。こわくて涙がたくさん出たけど、ひなん所でとなりの人が毛ふをかしてくれて、気もちもぽかぽかしたよ。はなれているけどありがとうがとどくといいな。

東 立花さん

私は、地しんでひ害にあってこわかったけど、近所の人助け合いながらねれる所などを確保してくれたりしてくれて少し安心しました。そのおかげであたたかいところでねれることができて心もあたたかくなりました。

東 初依さん

六月頃に、外で歩いていたら石につまずいて転んだときに大人の方が絆創膏をくれて一緒に家まで来てくれたことがとても助かりました。なので私も大きくなったら困っている人たちに声をかけたり助けたりしたいです。

村中 莉夏さん

地しんが起きたときひなん所で、地いきの人みんなで声をかけあったりひなん所の人数をかくにんしたりして、みんなが安心してすごせるように工夫してくれていたのうれしかった。

平田 望結さん

私が、うれしい気持ちになったことは、同じ町内にすんでいるたくさんのおじいちゃん、おばあちゃんが「いってらっしゃい、お帰り。」と声をかけてくれることです。みんなのやさしい笑顔に安心します。ありがとう。

- ❖ 地震がおこった時、公園に友達や親や地域の人が集まっていた。その日は、寒くて不安もあったから心細かった。けど、友達といっしょに「大丈夫だよ」とはげましあって、とても安心できた。助け合いを感じられた。
- ❖ ぼくは、能登地しんのあとだいこんをおとなりからもらったことがたすかったわと思いました。地しんのあとの数日は食べ物がなくこまっていたそんなときにだいこんをもらえたのですごく助かりました。ありがたかった。
- ❖ 最近あった能登半島地震発生後、ひなんするとき、みんなとひじょうかいだんをのぼって話していると、元気づける言葉や、協力し合う様子が見れました。それに他の人がはげましてくれて少し津波がこわくなくなりました
- ❖ 能登半島地しんがあった時、家族みんなでいたけど、両親がひさいの対応で仕事に行くことになって不安になりました。そんな時に友だちのお母さんからぼくを心配する連らくがきてありがたかったです。
- ❖ ぼくが、助かったことは、地しんのとき近所の人声が声をかけてくれたことです。そのあと、ひなんしたとき、すごく近所の人がありがたいと思いました。
- ❖ ぼくは、昔スーパーの入口の点字ブロックにカートのタイヤをひっかけてころびました。そして、ほかのお客さんが、ちらばった商品をひろってくれて助けてくれました。急いでいたので助かりました。
- ❖ わたしは、六年生とドッジをしました。六年生がいっぱいボールをわたしてくれました。それとわたしをまもってくれました。わたしがなげようとしたとき、「いけ。がんばれ。」といてくれてゆう気もてました。
- ❖ 毎週、子ども食堂に行っておいしいごはんを食べています。その時に、思ったことは、いつも来てくださって、温かいおいしいごはんをたべさせてもらって本当に感しゃしています。これまでは、ありがとうございました。
- ❖ 私は見守り隊がいてくれてありがたいと思いました。なぜかと言うと、朝は元気が無かったりねむかったりするけど見守り隊の人が「おはよう」と声をかけてくれて元気が出たり、頑張ろうという気持ちになれるからです。
- ❖ お母さんにたのまれてゴミ捨てに行っていて、ゴミ捨てのとびらが固くて開けられない時に、「開けますよ。」と町の人が声をかけてくれ、開けてくれました。そして、すごく助かり、心が温かくなりました。

- ❖ 冬休みのとき、地しんがおきてこわいとき地しんの後に、近所の人たちに、「大じょうぶですか。」と声をかけてもらえました。他の近所の人からも言ってもらえました。助かったわー。
- ❖ 自転車に乗りはじめてすぐの時、まがりかどで、まがろうとしたとき、みぞに落ちてけがをしていたら、すぐそこにいた地いきの人が「大丈夫。」って言って家まではこんでもらったことがたすかったなと思いました。
- ❖ 学校の下校中に、歩いていると鳥のふんが私のランドセルに落ちてしまった時、近くにいた女性が「これで拭いていいよ。」と言って、ウェットティッシュをわたしてくれました。無事に拭けて、とても助かりました。
- ❖ ぼくは、4年生の最初の一学期始まった時学校の急なさかで転んでしまっていたときしゅうだんのリーダーが「だいじょうぶ」って言って「立てる」と言って立てなかった時リーダーがおんぶしてくれてうれしかった
- ❖ 楽しかった休みが終わり、学校が始まった。朝おきて学校に行くとき、元気がなかった。しかし、見守りたいや、地いきの人たちが、「おはよう」とあいさつしてくれた。学校では自分からできた。全部地域の人のおかげ。
- ❖ 下校中に走っていたらころんで、なっていたら近所のおじいさんがないているのを見てしょうどくえきとばんそうこうをもってきてくれて「だいじょうぶ」といってしょうどくとばんそうこうをはってくれてうれしかった。
- ❖ ぼくが自転車で転んで動けなくなっているとおばさんが助けてくれて歯医者に行かないといけないのにわざわざお父さんまでよんでくれて、予定があるのに助けてくれてありがたかった。
- ❖ 下校中に走っていたら転んでしまっていたいと思ってそのままおれていたら、2台の車が「だいじょうぶ？」と声をかけてくれてありがたいなと思いました。
- ❖ 下校している時に、目の前で2年生の女の子がころんでしまったから助けようとおもったけど私は何をすればいいか分からなくてこまっていたら横を通りかかった女の人が手あてをしてくれたりして本当に助かりました。
- ❖ 下校中、私は走って帰っていたら雪にすべって転んで手に持っていたぼうしが、風でとばされてどうしようって思っていた時、通りかかった女の人が「大丈夫。」と言ってぼうしを取ってくれたので、とても助かりました。

- ❁ 前、おじいちゃんとおふろにいった時、先にあがって、ジュースを買おうとした時、ボタンがとどかなくてこまっていました。近くにいた方が、ボタンをおしてくれて「はい、どうぞ。」とジュースをくれてうれしかった。
- ❁ しゅうだんにおくれて急いでしゅうだんにいっているときにかさをわすれたけど晴れだったからいいかと思いつながらっていると雨がふってきて家に帰ろうと思ったら町内の人がかさをかしてくれてうれしかったです。
- ❁ 地域の町内のかたがおりたたみがさを落としたときにわざわざ家までもってきてくれたから、次の日雨かもしれないとおりたたみがさをもっていけたし、新しいおりたたみがさを買わずにすんだので、うれしかったです。
- ❁ 地域のおばあちゃんが、いつも、春や夏、冬も毎日畑に行って野菜を育ててくれていつも冬野菜などをとどけてくれたりとおどけてあげてみんなは助かっていると思うし、私も助かっています。
- ❁ 冬の日、朝、集団の集合場所が雪で行けなくてこまっていた友達もこまっていたところ見守り隊のおばちゃんが道を「あん内するよ。」と言ってくれて見守り隊の方のおかげでちゃんと集合場に行けたので助かりました。
- ❁ 見守り隊の人が、毎日学校の階だんの前で大きな声であいさつしてくれ今日もがんばろうと思えます。元気を出せてうれしくなります。また「冬の道路はすべるから、気をつけてね」という言葉もとてもうれしかったです。
- ❁ こどもしょくどうでおいしいごはんをありがとう。これからもおいしいごはんをつくってね。
- ❁ 夏休みが終わり、2学期初めの登校のとき荷物がいっぱい苦しかったけど見守り隊の人が荷物を2個学校まで持ってくれ、すごく嬉しかったです。学校まで持ってくれたので、見守り隊の人に、今も感謝しています。
- ❁ 地いきの人は通学する時や遊びに行く時にいつもあいさつをしてくれます。晴れの日も、雨の日も、風が強い日もです。地いきの人にあいさつしてもらおうと私はとてもうれしくて心がぽかぽかします。
- ❁ 10月頃の遠足の時にねんざをしてしまって、クラスメイトのみんなが心配してくれて階段をおりたり上がったりのを手伝ってくれました。今度はクラスの誰かが怪我をしたら私にできることを手伝ってあげたいです。

- ❖ 私が、助けてくれてうれしかった事は、小学校に入学して、みんなと、幼稚園がちがったので知っている人がいない中、喋ってくれて仲良くしてくれた人が、たくさんいた事です。そのおかげで思い出が増えました。
- ❖ いつも地域の人たちや見守り隊のみなさんが私たちのために雨、雪が降っていても、見守りあいさつをされていてすごいなと思いました。なので、私も明るく元気なあいさつをしていきたいです。
- ❖ 私は、いつも感謝している人がいます。それは、友達です。宿題が分からなかったら教えてくれたり、ケガをしたら助けてくれたり、おかげでとても楽しい思いでがたくさんできました。今のうちに感謝を伝えたいです。
- ❖ 地震でひなんしてたとき、お父さんはべつのところに行ったから、無事に帰れるか不安になったけど、ひなん所でひなんしていたおばさんが、家族の話や地震の話聞いてくれて不安がやわらいて、安心しました。
- ❖ わたしが一番うれしくなることは、となりにすんでいるおばあさんのことです。なぜなら、わたしと会った時、ほほかならず「はなちゃん」と、声をかけてくれるからです。これが、わたしの一番うれしくなることです。
- ❖ ぼくの家となりに、近所のばあちゃんがいる、よくりんごやみかんをくれて助かっていました。正月の地しんの時に、ぼくはすっごくあせってたけど、おばあちゃんが「大じょうぶやよ」って言ってくれたから安心できた
- ❖ 冬の時、雪がふると、家の前の人が朝早くからきれいに雪かきをしてくれたり、いってらっしゃいと声をかけてくれるのですごくありがたかったです。これからも、無理せず手伝ってほしいです。
- ❖ わたしは、児童館に行く時に新年にじしんが起き、マンホールのしゅうりをしている人を見かけました。きのうも今日も見かけました。子どもがわたる時には見守りたいとして「おかえり」と言ってくれました。
- ❖ 冬に家族で買い物に出た時に、車が雪にはまって動けなくなった時、近くで雪かきをしていた人達が雪をほって車をおして助けてくれました。車が動けなくなった時はこわかったけど助けてもらってうれしかったです。
- ❖ 毎朝学校のげんかんであいさつをして下さっているおばちゃんといつも一緒に登校しました。そのおかげで、学校に行くのが楽しみになったし、無事に学校に通えました。おばちゃん本当にありがとうございました。

- ❁ 五才のころお母さんと買物に行き、まいごになりました。泣いていた私に、お姉さんが「どうしたの」と声をかけてくれました。私は「ママがないの」と言うと「いっしょにさがそう」と言ってくれて見つかりました。

- ❁ 4年ぶりに大浜秋祭りがあった。ぼく達は、ししまいの横笛をするが経験した人はだれもいなかった。笛の先生は毎日教えてくれたのでうれしかった。みんなでたくさん練習して楽しい祭りになった。先生のおかげだ。

- ❁ 学校から帰るとき、カギがなくてどうしようかと思ったら、友達のおかあさんが家に入っていいよと声をかけてくれたのでたすかりました。

- ❁ わたしが一年生のころ大きい音が苦手で、一人で帰るのがこわかったです。そのとき、信号で交通安全をしているみまもりたいが、わたしと、帰ってくれました。知らない人だったけど、わたしにしんせつにしてくれた。

- ❁ わたしが七才の時に、ズックぶくろを道におとしたところを、気づかないで学校に行った時に、六年生がひろってくれていたみたいで、わたしにくれて、ズックもはけたし、うれしかったし、とてもありがたかったです。